

いのちめぐるまちニュースレター

～いのちめぐるまち学会版～ | 第2号

会費納入のお願い

新年度になったかと思っていたら、あっという間に時間が過ぎ、季節は夏に入ってしまった。会員のみなさまにおかれましては、ご多用な時期をお過ごしのことと存じます。年度の切り替えに合わせ、会費の納付をお願いいたします。

納付方法は、下記口座宛の銀行振り込みにてお願いいたします。なお、第3回大会にご参加される方は、参加費と合算した金額を一度にお振り込み頂ければと思います。その際は、大会の参加申し込みを先に済ませてからお振り込み頂くようお願いいたします。（請求書・領収書のご希望や直接現金での納付を希望される場合などは、担当：小林080-7584-0155または文末のメールアドレスまでご連絡下さい。）

振込先：GMOあおぞらネット銀行
法人第2営業部（普）1048528
シヤ)サスティナビリティセンター

※南三陸いのちめぐるまち学会の事務局は、一般社団法人サスティナビリティセンターが非営利事業として担っています。そのため、学会会員は、暫定的に一般社団法人サスティナビリティセンターの定款に定める正会員・一般会員・賛助会員として扱わせて頂きます。ご了承下さい。



南三陸いのちめぐるまち学会 第3回大会開催決定！

昨年の第2回大会では、135名もの方にご参加頂き、会場の酸素が足りないのでは？と思える程の熱気に包まれました。（詳細は是非、いのちめぐるまち学会ホームページの[アーカイブ](#)をご覧ください。）

この春から会員のみなさまも交えて、今年度大会の内容について検討を進めて参りましたが、ようやくプログラムが固まりましたのでお知らせいたします！

今年の大会テーマは「おどる交流軸・はねる時間軸」。地域を形づくる大きな要素である”人の交流”と、はるか縄文の昔から連綿と続いてきた”歴史の証拠”に焦点を当てます。会期は11月8日(金)のday1より、11月10日(日)の



KBG (クダリボウズギス) について

南三陸では、ネイチャーセンターの鈴木将太博士、阿部拓三博士が中心となり、クダリボウズギス（略してKBG）の研究が進められています。



妖しく輝くこの美しい魚を一目見たときから、筆者はその虜になってしまいました笑。

この魚は以前から九州や瀬戸内などの日本各地で見つかったのですが、標本は多くはなく、その生態は謎に包まれたままでした。

実は、志津川湾でも2007年に1個体だけ潜水調査の際に採集されています。その時は、誰もが偶然どこから流れ着いたのかな？くらいに思っていました。（残念ながらその時の標本は東日本大震災の津波により流失しました。）

ところが、それから15年後の2022年になって、志津川湾のとんでもないところからこの魚が再び出現したのです！

それは、海岸に穴を掘って巣を作る甲殻類の調査をしていたときのことでした。土を掘り返して目的の甲殻類を掘り出そうとしていたところ、赤い魚がポロリと出てき

day3・エクスカーションまで。今年は、町で唯一200名以上収容可能なベイサイドアリーナ文化交流ホール&アリーナをメイン会場として開催します。最新の情報は[学会HP](#)をご確認下さい。参加申込みは[コチラ](#)から。

第3回大会プログラム

(※諸事情により、タイトル・内容とも変更の場合がございます。ご了承下さい。)

day1 11月8日(金) 会場・いりやど

○前夜祭

14:00 ネイチャーポジティブな地域のシナリオづくりWS

19:30 ドリンク片手に楽しもう！：多拠点・マルチワーカー×地域の視点 ～つながりびと再発見～

day2 11月9日(土) 会場・ベイサイドアリーナ

○学会大会

9:30 開場

10:00 開会

10:10 対談：本音で語るネイチャーポジティブ
(科学者×企業×地域)

11:00 講演：発掘調査で明らかとなった南三陸の埋蔵文化財

13:00 ポスターセッション

16:00 全体討論

18:00 大交流会

day3 11月10日(日)

○エクスカーション

荒島探検、海中熟成ワイン、南三陸BIO見学など



たのを、鈴木さんが見逃しませんでした。筆者はハゼでも出たのか、珍しいな、くらいに思ったのですが、阿部拓三さんがそれを見た瞬間、「あの魚だ！」と叫びました。

その後、KBGは面白いように見つかり、詳しく調べたところ、どうやら夜に穴から出て活動していること、雄が口内保育を行うこと、など、次々に新たな発見がなされました。中でも驚きだったのは、KBGだと思っていたものが、実は2種類に分かれ、そのどちらもが志津川湾に棲んでいることが明らかになったこと！（詳細は論文が発表されてからお伝えします。）

いまでは、南三陸（ネイチャーセンター）がKBGの標本を世界で最も多く所有し、研究知見が集まる場所となりました。その結果、この興味深い魚の生態が徐々に解明されつつあります。

一つ重要な視点は、研究者が入って20年以上も調査してきた志津川湾でも、新たに見つかる魚がいるということ。そしてその魚の棲み場所は、震災復旧工事などで、もしかしたら誰も気付かないうちに多くがコンクリートの下に埋もれてしまったかもしれないということ。

私たちがネイチャーポジティブな世界の実現を目指す上で、この小さな魚の発見が、たくさんの示唆を与えてくれるように思います。

まあ、難しいことは抜きにしても、とにかく魅力的で興味深い魚ですので、今後もサステナビリティ学講座などで研究の進捗をお伝えしていきます。KBG研究の進展に、どうぞご期待下さい！

今年のプログラムもとても魅力的な内容がそろいました。昨年の大会参加者からご要望の多かったポスターセッションの時間も、今年はたっぷりとりました。

また、新たな試みとして、11月9日(土)の会場前にはキッチンカーがズラリと並び、参加者が楽しみながら昼食をとれるようにしました。そして、夜の大懇親会は仮設魚市場&南三陸ワイナリーに場所を移し、地元事業者も出店する”夜市”で、地域の方も一緒に交流を深められる場を企画しました。学会長がDJアイランドとして出沒するかも！？

第3回大会は共催として、環境研究総合推進費戦略的研究開発課題（S-21）が入って下さいます。

是非たくさんの方にご参加頂きたく、みなさまのお申し込みをお待ちしております！

同時開催・里海里山ウィークス11月3日(日)～11月9日(土)

いのちめぐるまち学会は、[里海里山ウィークス](#)の企画でもあります。11月9日(土)学会大会day3のエクスカージョンは、地域のみなさまのご協力により、里海里山のさまざまなプログラムの中からお選び頂けます。里海里山ウィークスは11月3日(日)からの開催ですので、ご興味ある方は以下のリンクを是非ご覧下さい。なお、エクスカージョンの申し込み先はプログラムごとに異なります。学会大会とは別に、事前に申し込みが必要ですのでご注意ください。

共創の場および環境研究総合推進費の研究動向

昨年、第一報をお伝えした国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）[共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）](#)に東北大学が提案した『[ネイチャーポジティブ発展社会実現拠点](#)』がみごと採択されました。6月12日(水)には東京日本橋でキックオフシンポジウムが開催され、プロジェクトの構想がお披露目されました。その中で南三陸町をフィールドとした研究成果いくつも紹介されていたのが印象的でした。今後10年間で南三陸のようなサイトを各

◇KBGグッズ開発中！

KBGをダンゴウオやクチバシカジカのように地域の新たなアイドルとすべく、地域おこし協力隊員の星空之介氏が、研究者監修のもと、グッズ開発に取り組んでいます。第一弾はTシャツ。KBGグッズ、見かけたらみなさんも是非手に取ってみて下さいね！



いのちめぐるまちニュースレター

～不定期発行～

編集・発行

南三陸いのちめぐるまち学会事務局
(一般社団法人サスティナビリ
ティセンター内)

〒986-0768

宮城県本吉郡南三陸町志津川字御
前下25

tel : 050-5236-2263

e-mail : info@m-sustainable.org

HP : <https://inochi-meguru.net/>

(文責：太齋彰浩)

地に増やしつつ、企業や社会の変革を促すという意欲的なプロジェクトにご注目下さい。

もう一つの大型プロジェクトである、環境省予算の**戦略的研究開発**S-21『生物多様性と社会経済的要因の統合評価モデルの構築と社会適用に関する研究』は2年目に入りました。現在、南三陸の里海・里山で地域のみなさんにご協力をいただきながら、いくつかの研究が進んでいます。その成果は、学会大会のポスターセッションなどでご発表頂きます。また今年の大会ではday1の地域のシナリオづくりワークショップも企画していただきました。この機会に、持続可能な地域の姿とはどんなものなのか、具体的なシナリオをみんなで考えていきたいと思っております。地域の会員のみなさんには是非ご参加頂きたいと思っておりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします（もちろん、学会員ならどなたでもご参加頂けます。定員あり）。

2つの研究プロジェクトの動向は、今後も随時お知らせしていきます。

いのちめぐるまちデータベースを公開

南三陸町に関連する論文や書籍情報を集約し、誰でもアクセス・活用できることを目的に、『[いのちめぐるまちデータベース](#)』を作成しました。

環境、生き物、歴史、産業、まちづくり、芸術、教育、医療といったカテゴリーから、探したい文献情報にアクセスすることができます。それぞれの文献データはFacebookグループにて集約し、キーワード検索で読みたい文献を探し出すことができます。

調査研究・教育活動など南三陸町の情報を収集する際には、ぜひご活用ください。

